

2024年5月、「山形大学人材育成プログラム「i-HOPE」2024
新事業創出イノベーションプログラム」が始まりました。
本記事では、2024年5月の講義の様子をご紹介します。



新事業創出イノベーションプログラム「i-HOPE」2024

- 新事業創出に必要な起業家精神と知識・スキルを学ぶプログラム
- 期間は2024年5月から12月の約8か月間
- 隔週土曜日開催で講義日は全17回

●入塾式 オリエンテーション (5/11)

山形大学 教授
アントレプレナーシップ教育研究センター センター長
講師：小野寺 忠司氏

本講義の趣旨説明、講師紹介、具体的なプログラムとゴールの解説などを行う「入塾式」を実施しました。小野寺塾長より、受講生の皆さんに向けて、「コンフォートゾーンをぶち破れ！」と熱いメッセージをいただきました。



●ビジネスを成功に導く視点&起業に必要なマインドセット (5/11)

山形大学客員教授
三井住友信託銀行(株)エグゼクティブアドバイザー
講師：野口 謙吾氏

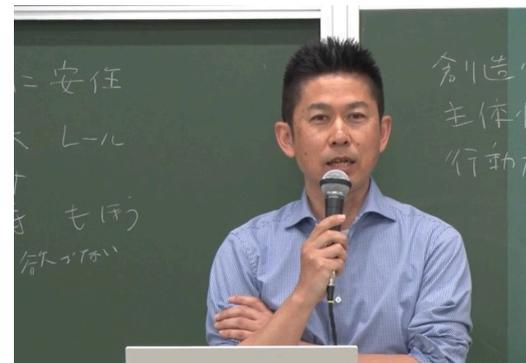
アントレプレナーシップ教育の重要な3要素、プログラムで学ぶ際に重要なこと、新事業創出に対する代表的な5つの視点など、i-HOPEプログラムを始める前に知っておくとよいエッセンスや考え方について解説していただきました。



●アントレプレナーシップとは何か? (5/11)

山形大学 客員教授
一般財団法人SFCフォーラム 事務局長
講師：廣川 克也氏

「アントレプレナーシップ」とは、起業家にとって必須な考え方ですが、他の人にとって不要ということはありません。この講義では、この精神について事例を挙げてわかりやすく解説していただきました。



●ビジネススプリングボード①～未来を描く・課題に向き合う～ (5/25)

山形大学 客員教授

一般財団法人SFCフォーラム 事務局長

講師：廣川 克也氏

新事業創造を検討するにあたり、「ビジネススプリングボード」というフレームワークを用い、3回にわたって解説を行います。初期検証の方法、効果的かつ印象に残る事業計画書を構成するための必要項目などについて解説していただきました。



●尾花沢のオーセンティック（本物や本場）を活かす (5/25)

尾花沢市 総合政策課 課長

講師：永沢 晃氏

今年度は、実証フィールドとして「山形県尾花沢地区」を選定し、地域の課題解決のアイデアを練っていただきます。永沢様より、地域の紹介のほか、課題意識、社会ニーズなどについて説明していただきました。受講生は、年間の授業を通じて解決方法（＝ビジネスプラン）を考えるテーマを見つけていただきます。



●グループワーク① ～課題の仮説を相互検討する～ (5/25)

山形大学 教授

アントレプレナーシップ教育研究センター センター長

講師：小野寺 忠司氏

本講義では、ビジネスプランの作成を、個人ではなくチームで取り組んでいただきました。様々な背景を持つ人々との交流や議論を行うこと、多様な意見を取りまとめること、幅広い資源を活用すること等を学びました。



TOPIC



「i-HOPE2023」での ビジネスアイデアから新事業創出

当センターで昨年度実施した「i-HOPE2023」において創出されたビジネスアイデアに基づき、令和5年度社会人修了生が「株式会社メーカー」を設立し、2024年5月9日に記者会見を行いました。
※詳細は別添のリリースペーパーをご覧ください。